

【資料2】

平成30年度 文化芸術関連事業報告書

目次

1P	芸術文化の祭典事業	27P	青少年音楽活動支援事業
2P	童謡まつり事業	28P	古賀の魅力再発見コンテスト事業
3P	コンサート事業	29P	図書館まつり事業
4P	文化芸術交流事業	30P	読書活動促進事業
5P	公共施設美術品展示事業	31P	セカンドブック事業
6P	古賀駅美術館事業	32P	子ども図書館員事業
7P	アート・バス事業	33P	読書ノート事業
8P	アートサポート養成講座事業	34P	小学校親子読書活動促進事業
9P	こども絵画教室事業	35P	中学生読書サポーター事業
10P	文化芸術振興計画管理	36P	学校図書館・公共図書館相互賃借事業
11P	企画展	37P	視聴覚資料利用促進事業
12P	自然史・歴史講座	38P	読み聞かせ促進事業
13P	子ども考古学部事業	39P	地域文庫・読書ボランティア支援事業
14P	ナイトミュージアム事業	40P	レファレンスサービス事業
15P	歴史資料館見学事業	41P	視覚障害者読書支援事業
16P	歴史資料館サポート事業	42P	読書推進事業
17P	聞き取り調査事業	43P	文化教養向上事業
18P	パネル展	44P	地域人権啓発事業
19P	船原古墳等公開活用事業	45P	乳幼児親子居場所提供事業
20P	船原古墳等調査整備事業	46P	乳幼児親子相談事業
21P	遺跡発掘等事業	47P	乳幼児絵本との出会い促進事業
22P	生涯学習笑顔のつどい	48P	地域介護予防音楽活動支援
23P	コスモス市民講座	49P	地域活動支援センター(ゆい)管理運営事業
24P	青少年活動支援事業(わくわくフェスタ)	50P	介護予防・生きがいづくり支援事業(しゃんしゃん)
25P	青少年活動支援事業(コスモックスまつり)	51P	介護予防支援センター(りん)管理運営事業
26P	青少年活動推進事業(アート教室)		

平成30年度文化芸術事業報告書(芸術文化の祭典事業)

計画該当項目	古賀市の個性を起こす	宝をみつける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の個性を起こす	宝をいかす	長期	文化芸術活動を行う個人や団体を、行政が行う事業に積極的に活用します。
	古賀市の個性を起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子供たちが文化芸術に親しむ機会を学校と連携を図り、提供します。
	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	<ul style="list-style-type: none"> 古賀市で文化芸術活動をおこなう個人や団体を積極的に活用し、古賀に根付く多彩な文化芸術の魅力を発表・鑑賞・体験する機会を提供する。 伝統的な芸能・芸術の技能、能力、知識を、発信、伝承、還元するための機会の充実を図る。 発表する機会を提供し、日々の活動を促すことで、文化芸術の根付きを促進する。 			
日時	下記のとおり		会場	リーパスプラザこが中央公民館大ホール・ホワイエ リーパスプラザこが歴史資料館ギャラリー・中会議室
対象(複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・ 全年齢 ・その他			
参加人数	来場者数	芸能:3,498人 芸術:578人	担当	文化課文化振興係
区分(複数可)	講演会・ イベント(祭りやコンサート等) ・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	古賀市で活動する文化芸術活動団体の発表会として、展示を4日間、舞台演技披露を3日間実施。			
	芸能	10月7日	よさこい古賀連舞、うさぎドリーム、古賀三線島唄会、福岡ヨーガ道友会、啓峰吟詠会古賀支部、あすかダンススクール、ハラウフラオ マカナアロハ、おかはちとウクレレで歌おう♪、神伝真正早淵流剣詩舞道、舞の里おやじバンド、大正琴アンサンブルポピー、茂寿の会、舞の里エトワールバレエ、日本民謡大久保会、壽駒会、鶴州流福岡吟詠会、三千久賀会、Halau Hula O Hana Aloha、絃楽・たのしみ三味線、絃楽・津軽三味線、クロスパル古賀和太鼓教室、サンフレッシュダンス、箏曲系の会、Ring∞ Ding Family、女声コーラスコールウイング、舞オカリナ教室、ユカリクラシックバレエ、勘涌の会、Natural ONE、三線バンドシーザーズ、吉住歌謡教室、日本歌謡連盟、みさカラオケ教室、玄界高等学校邦楽部、Double take、MDR、古賀中学校吹奏楽部、芳賀史江、にこにこジャズダンス、香雲堂吟詠桜峰会、松富士会、メロディ缶、古賀市半面会、古賀マンドリンクラブ	
		10月8日		
		2月3日		
	芸術	10月4日	○絵画の部:26点(洋画の会、蒼墨同好会、えんがわ倶楽部) ○写真の部:8点(社団こが)	
10月5日		○書道の部:18点(さざなみ会、一五会、愉の筆、渋谷ペン習字教室) ○陶芸の部:62点(古賀市陶芸同好会《水曜会》、《木曜会》、古賀陶友会) ○工芸の部:20点(ふしぎな花倶楽部押し花サロン華、押花幸葉、組刺しの会、真友の会、彩り工房)		
10月7日		○生け花の部:14点(池坊の会、小原流瑞穂の会) ○盆栽の部:3点(古賀市花卉盆栽同好会)		
10月8日		○茶道の部:お茶席(表千家宗希会) ○囲碁の部:囲碁大会(古賀市囲碁同好会)		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 今回、中高大学生の舞台出演を行い、好評を博した。 中高大学生の舞台出演にあたり、楽器の運搬が困難であった。 10月6日については台風の接近に伴い、芸術部門を中止とし、芸能部門は2月3日に振り替えた。 昨年までの芸術祭と文化祭を統合して芸術文化の祭典として開催したが、良かった点としては人的負担が減ったことである。半面、芸能部門で生徒の指導に時間を要するため、師範クラスの出演が困難となったことは反省点として、改善策を考える必要がある。 駐車場が不足気味である。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(童謡まつり事業)

計画該当項目	古賀市の個性を起こす	宝をみつける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の個性を起こす	宝をいかす	長期	文化芸術活動を行う個人や団体を、行政が行う事業に積極的に活用します。
	古賀市の個性を起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・出演する市民を公募することで、受け継がれてきた童謡の魅力をも幅広い世代に伝える。 ・子どもたちにも童謡を発表・鑑賞する機会を提供し、日本に根付く童謡を次世代へ引き継ぐ。 			
日時	平成31年3月3日(日)	会場	リーパスプラザこが中央公民館大ホール	
対象(複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・ <u>全年齢</u> ・その他			
参加人数	出演者数: 1, 234人 来場者数: 4, 165人	担当	文化課文化振興係	
区分(複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>公募により、エントリーした各団体が童謡の演奏・歌を披露するほか、みんなで歌おうコーナー、独唱コンクール等を実施。 なお、当日のステージのバックボードは古賀竟成館高等学校の美術部が作成。 独唱コンクールにおいては、表彰式を実施。</p>			
	合唱出演団体	<p>古賀東小学校琴クラブ、ユカリクラシックバレエ、たけのこ文庫、花見南童謡クラブ、天照幼稚園、暁の星幼稚園、コールまつぼっくり、リトミックサークルいちごみるく、ヒマラヤ王子王女合唱団、舞の里パティ保育園、NaturalONE、ハンドベルグループカトレア、桜草、古賀新宮子ども劇場、花見光保育園、絃楽・たのしみ三味線・津軽三味線、女声コーラスコールウイング、舞の会、勝田友彰、久保保育園、古賀マンドリンクラブ、エコすみれ、ココの会、七色のおんぷ MusicRoom♪、やまびこ幼稚園、メロディ缶、芳賀史江、舞オカリナ教室、女性コーラスアマービレ&セピア、花鶴丘幼稚園、 童謡独唱コンサート: 19人</p>		
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も多くの来場者があったことから、駐車場対策を必要と考える。 ・スクリーンに古賀竟成館高等学校美術部の紹介があり、バックボード作成のPRにもなり、好評であった。 ・出演者について、幅広い年齢層の出演であることに加え、独唱・合唱・楽器演奏・日本舞踊・バレエ・演劇等多種にわたる演目に、多くの来場者が満足いただけただけの様子である。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(コンサート事業)

計画該当項目	古賀市の個性を起こす	宝をみつける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の個性を起こす	宝をいかす	長期	文化芸術活動を行う個人や団体を、行政が行う事業に積極的に活用します。
	古賀市の個性を起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
目的	<ul style="list-style-type: none"> 生の演奏を気軽に、定期的に、身近で発表・鑑賞する機会を提供し、潤いある文化都市を目指す。 古賀市で文化芸術活動をおこなう個人や団体を積極的に活用し、古賀に根付く多彩な文化芸術の魅力を発表・鑑賞の機会を提供する。 			
日時	下記のとおり		会場	リーパスプラザこが交流館フォーラム・多目的ホール
対象(複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代 全年齢 その他			
参加人数	来場者数 芸能:3,498人 芸術:578人	担当	文化課文化振興係	
区分(複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	カフェで聞くように、気軽にリラックスしながら聴け、参加者同士が交流できるコンサートを実施する。出演者は市内で活動する文化団体とする。			
	サロンコンサート(土曜日13時30分～15時) リーパスプラザこが交流館フォーラム・多目的ホール			
	開催日	入場者数	出演団体	
	7月21日	118人	ハラウフラオマカナアロハ・うさぎドリーム・古賀BGバンド	
	9月15日	78人	Natural ONE・古賀三線島唄会	
	12月22日	220人	ユカリクラシックバレエ・舞の里おやじバンド	
	1月19日	79人	ミュージカルオペラk.i.・大正琴アンサンブルポピー	
	3月16日	56人	女声コーラスコールウィング・日本民謡大久保会	
	ランチタイムコンサート(木曜日12時30分～13時) リーパスプラザこが交流館フォーラム			
	開催日	入場者数	出演団体	
	4月19日	69人	古賀BGバンド	
	6月21日	87人	ハラウフラオマカナアロハ	
	8月30日	75人	おかはちとウクレレで歌おう	
	9月20日	71人	日本民謡大久保会	
	11月15日	73人	ミュージカルオペラk.i.	
2月14日	80人	古賀三線島唄会		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンコンサートの「みんなで歌おう」のコーナーは出演者と来場者が一緒に歌う楽しさから、アンケートでも好評である。 ・フォーラムでの実施については、館の運営に支障を与えてるところから、開催場所について考える必要がある。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(文化芸術交流事業)

計画該当項目	環境づくり	-	中期	文化芸術に関するネットワークづくりを行います。
	古賀市の個性を起こす	宝をいかす	長期	文化芸術活動を行う個人や団体を、行政が行う事業に積極的に活用します。
	古賀市の個性を起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	中期	近隣都市との広域的な連携を図ることで、文化芸術振興へいかします。
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村との交流を図り、情報収集や意見交流を行い、新たな文化芸術の視点を取り入れる。 ・近隣市町村と共同で行うことで広域的なネットワークづくりを行う。 ・古賀市の誇れる文化芸術資源を市内外に積極的に発信する。 			
日時	下記の通り	会場	下記の通り	
対象(複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・ 全年齢 その他			
参加人数	-	担当	文化課文化振興係	
区分(複数可)	講演会・ イベント(祭りやコンサート等) ・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>【粕屋地区美術展】 日時 平成30年12月6日(木)～12月12日(水) 会場 宇美町住民福祉センター体育館 内容 糟屋郡の1市7町と福津市、宗像市の持ち回りで、毎年開催されている芸術部門の展示会。平成30年度で46回目をむかえた。毎年古賀市から30点～40点の出品をしており、作品は広報を通して市民から公募している。 出展 出展数32点(うち無鑑査4点) 入賞者8人 ・糟屋地区文化協会連合会賞(1人) ・糟屋地区社会教育振興会賞(1人) ・糟屋地区市町村協議会賞(2人) ・奨励賞(4人) 受賞</p> <p>【福岡 I ブロック芸文のつどい】 日時 平成30年11月11日(日) 会場 クリエイト篠栗 大ホール 内容 糟屋郡の1市7町、福津市、宗像市の持ち回りで、毎年開催されている芸能部門の発表会。平成30年度で26回目をむかえた。 出演 古賀市からは3団体出席</p>			
課題・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・他市に古賀市の文化的な魅力を市内外にPRできた。 ・出品者の高齢化が進んでいるため、出品者が減少傾向にあり、若い出品者の開拓が必要である。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(公共施設美術品展示事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	文化芸術活動を行う個人や団体を、行政が行う事業に積極的に活用します。
	古賀市の個性を 起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎市民ホールに絵画等の展示を行い、潤いのある空間を演出し、文化芸術振興を図る。 ・文化芸術資源の活用をし、古賀市の魅力を市内外に伝えられるよう積極的に発信する。 			
日時	-		会場	古賀市役所 市民ホール
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・ <u>全年齢</u> ・その他			
参加人数	-		担当	文化課文化振興係
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・ <u>その他文化的要素を利用した事業</u>			
内容	<p>県展、糟屋美術展、MOA古賀市児童作品展等の近隣で開催された美術展で受賞した古賀市民の作品を展示。市民や職員が頻繁に行き交う空間に展示することで、古賀市が誇る文化芸術作品の発表の場となると共に、市民がよりクオリティの高い作品を身近に鑑賞できる機会の提供にもなっている。基本的に1ヶ月ごとに作品を入れ替える。</p>			
	4月	柴田 美知枝	糟屋地区美術展 桜並木	
	5月	中川原 信子	県展受賞作品 「宙(そら)」	
	6月	山口 征子	糟屋地区美術展 竹林	
	7月	吉田 聖菜	Beautiful Ocean	
	8月	川本 健太	平成29年MOA美術館奨励賞 「うちゅうステーションから地球を見たい」	
	9月	洪田 玲子	県展受賞作品(入選) 「ガーデニング」	
	10月	水田 明美	県展受賞作品(入選) 「遠回りの帰り径」	
	11月	大熊 やよい	糟屋地区美術展 糟屋地区文化協会連合会賞 「野ぶどう」	
	12月	水本 勉	県展入選 藁灰花器	
	1月	篠崎 晴男	西部伝統工芸展の作品 鉄釉幾何文浅鉢(てつゆうきかもんあさばち)	
	2月	松本 定由	県展入選 香炉	
	3月	香川 義文	糟屋地区美術展 奨励賞 絵皿 桜	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度または今年度にすばらしい成績を残された方の作品を1ヶ月ごとに展示することで、来場する人に飽くことなく優秀な作品を鑑賞してもらえた。 ・作品を見る目的で、市役所を訪れる人もいた。 ・上記の美術展以外の受賞作品も展示対象に入れるべきか等検討する。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(古賀駅美術館事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	文化芸術活動を行う個人や団体を、行政が行う事業に積極的に活用します。
	古賀市の個性を 起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
目的	<ul style="list-style-type: none"> 古賀駅に絵画等の展示を行い、潤いのある空間を演出し、文化芸術振興を図る。 文化芸術資源の活用をし、古賀市の魅力を市内外に伝えられるよう積極的に発信する。 			
日時	-		会場	古賀駅
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・ 全年齢 ・その他			
参加人数	-		担当	文化課文化振興係
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・ その他文化的要素を利用した事業			
内容	古賀市の玄関口である古賀駅階段に設置している掲示板に月替わりで市民の作品を展示することで、潤いある空間を創出するとともに、駅を利用する市内外の方々に古賀市の文化をアピールする。			
	月	ジャンル	団体等名称	
	4月	絵	古賀市こども美術展	
	5月	写真	写団こが	
	6月	写真	小野校区写真コンテスト	
	7月	絵	古賀市の魅力発見!	
	8月	絵	MOA美術館古賀市児童作品展	
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月	絵	古賀竟成館高等学校	
3月				
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 古賀市民の作品を1ヶ月ごとに展示することで、古賀駅利用者にひろく作品を鑑賞してもらえた。 現在は市で団体に依頼を行っているが、公募ができないか等の検討を行う。 掲示板の管理は建設課であるため、連携を密にする。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(アート・バス事業)

計画該当項目	古賀市の個性を起こす	宝を見つける	短期	教育機関との連携を図りながら、子どもたちの視点を大切にした文化芸術活動を目指します。
	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子供たちが文化芸術に親しむ機会を学校と連携を図り、提供します。
	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	年中児童、年長児童及び小中学生が対象。本物の芸術に触れることで豊かな感性を育み、新しい発見や感動を与える機会を創出する。			
日時	下記のとおり		会場	下記のとおり
対象(複数可)	幼少期(就学前)・ <u>小学生(小中高大)</u> ・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	下記のとおり		担当	文化課文化振興係
区分(複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・ <u>その他文化的要素を利用した事業</u>			
内容	古賀市内には美術館がないため、古賀市内の就学前児童及び小中学生(参加希望者)をバスに乗せて、近隣の美術館に連れて行き、本物の芸術に触れる機会を創出する。			
	日付	対象者	観覧内容	参加者数
	6月16日(土)	市内中学生	福岡県立美術館 「コレクション展Ⅱ 夏休み 特集アートたんけんア ートたいけん」	生徒:27人 引率教諭:1人 ボランティア:6人 コーディネーター:1人 市職員:2人
	7月14日(土)	市内年中児・年長児	福岡県立美術館 「コレクション展Ⅱ 夏休み 特集アートたんけんア ートたいけん」	児童:8人・保護者8人 ボランティア:4人 コーディネーター:1人 市職員:2人
1月26日(土)	市内小学生	九州産業大学美術館 「九州産業大学芸術学部 卒業制作展・芸術研究科 修了制作展」	生徒:12人 ボランティア:5人 コーディネーター:1人 市職員:2人	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生版では市内各中学校の美術部が集まり、皆興味深く絵を鑑賞している様子であった。 ・親子版では、日頃子どもを連れてくるのが難しい施設であるからこそその楽しみ方を学芸員から聞くことができ、保護者も満足していた様子であった。 ・小学生版では、九産大の学生が自らの作品を含めてギャラリートークを行ってくれたため、小学生も新たな視点で作品に触れることができている様子であった。 ・ボランティアの減少が目立つ。ボランティア講座などを検討する。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(アートサポート養成講座事業)

計画該当項目	古賀市の個性を起こす	宝をみつける	短期	リーバスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の個性を起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
	古賀市の新しい魅力を興す	ざわめきづくり	中期	文化芸術団体の新たな人材育成を進めます。
目的	・文化振興を担う人材の支援として、新しい団体の創生を支援する。			
日時	下記のとおり		会場	リーバスプラザこが歴史資料館・中会議室・ギャラリー
対象(複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代 全年齢 ・その他			
参加人数	下記のとおり		担当	文化課文化振興係
区分(複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等) 講座 ・ 人材育成 ・その他文化的要素を利用した事業			
内容	古賀市の所蔵する美術品を使って展覧会を開催する人材を育成すべく県立美術館学芸員を講師として「アートサポート講座」を実施し、その成果発表の場として「古賀市コレクション展byアートサポート講座」を開催した。			
	回	開催日	受講者数	内容
	第1回	6月23日	9人	講座「展覧会への道」
	第2回	7月15日	8人	作品調査方法の解説と実践
	第3回	9月1日	5人	作品調査の実践
	第4回	11月24日	4人	展示会展示作品の選定 キャプションの書き方説明
	第5回	2月16日	5人	作品の展示方法の説明
	展覧会	2月17日～2月24日	来館者数 107人	古賀市コレクション展byアートサポート講座
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・講座で学んだことを踏まえて「アートサポート展」を開催。講座の成果を発表するとともに、古賀市が所蔵する美術品を市民に見ていただく良い機会となった。 ・受講者が少数であったため、次年度は受講者を増やす対策を考える必要がある。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(こども絵画教室事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	教育機関との連携を図りながら、子どもたちの視点を大切に文化芸術活動を目指します。
	古賀市の個性を 起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子供たちが文化芸術に親しむ機会を学校と連携を図り、提供します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	【小学生】絵を描くことへの興味関心を高め、また絵を描く力を伸ばすことで、古賀市の文化芸術振興に繋げる。 【高校生】「教えられて学び、教えることで自らも学び、教えるために更に学ぶ」という学びの循環を作り教える側が美術の新たな魅力に気付くことで古賀市の文化芸術振興に繋げる。			
日時	下記のとおり	会場	リーパスプラザこが歴史資料館・ギャラリー リーパスプラザこが交流館302洋室・102工芸室	
対象 (複数可)	幼少期(就学前) 学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	下記のとおり	担当	文化課文化振興係	
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座 人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	受講者は市内小学生、先生役は古賀竟成館高等学校ベーシックデザインコースの生徒たち、という形態で夏休み期間に絵画教室を実施した。また、後日には発表の場として、展覧会を開催した。			
	回	開催日	参加者数	内容
	第1回	7月27日	小学生14人 高校生18人	「歴史資料館でスケッチ大会」 歴史資料館にてスケッチ 交流館302洋室にて着色
	第2回	8月7日	小学生16人 高校生17人	「みんなで大きな絵を描こう」 約3×4mのビニールシート2枚に全員で大きな絵を描く
展覧会	2月17日～2月24日	-	上記2回で描いた絵と活動の様子を紹介するパネルを展示	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 小学生と高校生は最初お互い緊張気味であったが、すぐに慣れて、積極的に交流する姿が見られた。 約3×4mもの大きな絵を描く経験は、学校でもなかなか難しいため、貴重な機会であったと考える。 猛暑のため、当初は屋外で行う予定であったスケッチ大会を急遽屋内で行うこととなった。 高校生が多忙であるため、日程調整を密にする必要がある。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(文化芸術振興計画管理)

計画該当項目	環境づくり	-	長期	本計画をさまざまな機会に啓発を行い、文化芸術に関する意識啓発を行います。
目的	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術振興計画を様々な機会に啓発を行い、文化芸術に関する意識啓発を行う。 古賀市文化芸術振興条例に基づき、文化芸術審議会を設置し、古賀市文化芸術振興計画の進捗管理を行い、古賀市の文化芸術振興を図る。 			
日時	-	-	会場	-
対象(複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代 全年齢 その他			
参加人数	-	-	担当	文化課文化振興係
区分(複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成 その他文化的要素を利用した事業			
内容	<ul style="list-style-type: none"> 古賀市の文化行政に係る事案について(古賀市文化芸術振興計画、同アクションプラン、その他課題等)古賀市文化芸術審議会に諮問し、答申を受ける。 答申を受けて作成した古賀市文化芸術振興計画、同アクションプラン等について、周知をはかる。 			
	開催日	会議名	協議事項	
	5月23日(水)	第1回古賀市文化芸術審議会	古賀市文化芸術振興計画及び同アクションプランについての概要説明	
	7月19日(木)	第2回古賀市文化芸術審議会	前年度文化芸術関連事業報告、アンケート結果公表、古賀市文化芸術振興計画アクションプラン見直し協議	
	8月16日(木)	第3回古賀市文化芸術審議会	古賀市文化芸術振興計画アクションプラン見直し協議	
10月3日(水)	第4回古賀市文化芸術審議会	歴史資料館要覧報告、古賀市文化芸術振興計画アクションプラン見直し協議		
成果課題	平成30年度は古賀市文化芸術振興計画の見直し年であるため、審議会に諮り、前期5年間の計画進捗状況をふまえたうえで、後期5年間に取り組むべき内容について、後期アクションプランを作成した。次年度はこの後期アクションプランの周知に努める。			

平成30年度文化芸術事業報告書(企画展)

計画該当項目	古賀市の個性を起こす	宝をみつける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の個性を起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
目的	市民が歴史、民俗、博物、考古について学ぶ機会を提供する。			
日時	7月20日(金)～8月22日(水) ※歴史資料館の休館日を除く	会場	リーパスプラザこが 歴史資料館ギャラリー	
対象(複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・ 全年齢 ・その他			
参加人数	下記の通り	担当	文化課文化振興係	
区分(複数可)	講演会・ イベント(祭りやコンサート等) ・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>【展示】『幕末の古賀～青柳宿を通った人々～』 来館者 947人 ※幕末の青柳宿と、青柳宿を通ったであろう人々についてのパネル展示を行った。また、展示ケースには三枚の宿札と北九州市立自然史・歴史博物館から借用した宿札、城戸家から寄贈を受けた着物と和歌の額、『御参勤御道中日記全録』(黒田家収蔵古文書)を展示した。</p> <p>【関連イベント:講演】「幕末の古賀～青柳宿を往来した人々～」 講師:守友 隆先生(北九州市立自然史・歴史博物館 学芸員) 期日:平成30年8月18日(土)14:00～16:00 参加者数:52名 企画展の「幕末の古賀～青柳宿を通った人々～」と併せて開催。伊能忠敬や高木善助等の記録文書からわかる幕末の唐津街道と青柳宿の構成や当時の様子等について、また、企画展のパネル展示で取り上げた幕末の青柳宿を通ったであろう人々に焦点を当てた講演を行った。</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展の入口に唐津街道すごろくやペッパーを設置し、中に唐津街道クイズを設置することで会場に入りやすい雰囲気をつくり、子ども達にも楽しみながら青柳宿について学んでもらえた。幅広い年代の市民の関心を高めることができた。 ・今回は主にパネル展示だったので、史料の展示が少なく、具体的な史料を求めて来館された方には物足りないと感じる内容であった。関連する物の展示を増やす。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(自然史・歴史講座)

計画該当項目	古賀市の個性を起こす	宝をみつける	短期	リーバスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の個性を起こす	宝をいかす	長期	文化芸術活動を行う個人や団体を行政が行う事業に積極的に活用します。
	古賀市の個性を起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	市民が自然、歴史について学ぶ機会を提供する。			
日時	下記の通り	会場	下記の通り	
対象(複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代 全年齢 その他			
参加人数	下記の通り	担当	文化課文化振興係	
区分(複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等) 講座 ・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>第1回 講演『船原古墳最新情報2018～今明かされる豪華馬具の高度な技術力～』〔歴史資料館 中会議室〕 実施日:平成30年5月13日(日) 参加者:41人 内容:○九州歴史資料館研究員による講演(第1部) 保存科学の実態や船原古墳の出土品である轡、杏葉の構造を、資料を基に講演。 ○古賀市文化財係職員による解説(第2部) 古代馬の模型作成の裏側を解説。</p> <p>第2回 講演『幕末の古賀～青柳宿を往来した人々～』〔歴史資料館 中会議室〕 実施日:平成30年8月18日(土) 参加者:52人 内容:幕末の古賀の様子を歴史資料を基に講演。また、幕末期に古賀を通った人々の解説。</p> <p>第3回 夏休み子ども歴史講座『船原古墳と馬具のヒミツ』〔歴史資料館 中会議室〕 実施日:平成30年8月23日(木)・8月24日(金)(24日は午前午後の2回) 参加者:22人 内容:船原古墳と出土遺物に関する講話 石膏を使った杏葉作成</p> <p>第4回 現地学習『維新の前哨地 太宰府で学ぶ』〔太宰府市〕 実施日:平成30年10月25日(木) 参加者:36人 内容:案内ボランティアによる九州国立博物館バックヤードツアー 太宰府天満宮宝物殿・延寿王院見学</p> <p>第5回 現地学習『街中に残る唐津街道を訪ねる～青柳宿から福岡まで～』〔青柳宿・旧箱崎宿周辺・天神・中洲〕 実施日:平成31年3月5日(火) 参加者:37人 内容:古賀市史跡案内ボランティアによる青柳宿現地学習 歴史資料館長の案内による旧箱崎宿周辺現地見学 福岡市観光案内ボランティアと巡る現地学習</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回講座では、保存科学の実態や出土したテツクギから分かること、船原古墳の出土品である忍冬唐草文心葉形鏡板付轡、鳳凰文心葉形杏葉の構造等の講演を聞いた後、開催していた船原古墳速報展で講師へ熱心に質問しており、船原古墳への関心を高めることができました。 ・第2回講座の講演では、企画展とコラボして、古賀市に残る宿場町・青柳宿を知ってもらうことができました。 ・第3回講座では、歴史に興味のある子どもたちが集まったため、大変意欲的な活動をする事ができました。船原古墳への知識とともに、鳳凰文心葉形杏葉の構造を学んだことで、杏葉の模型の着色にも活かされており、船原古墳や歴史への関心を高めることができました。 ・第4回講座の現地学習では、アンケート回答にて86%の参加者が有意義だったと答えており、好評であった。「歴史に興味をもった」「また参加したい」との感想があり、市民に歴史へ関心をもってもらうきっかけができた。 ・第5回講座の現地学習では、アンケート回答にて89%の参加者が有意義だったと答えており、好評であった。定員を超える申し込みもあったことから、市民の歴史に対する興味の高まりを感じることができた。 ・更なる自然や歴史伝承活動の推進のため、当事業について広く周知を行う必要がある。 ・現地学習の参加希望者の増加に対する検討を要する。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(子ども考古学部事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	文化芸術活動を行う個人や団体を行政が行う事業に積極的に活用します。
	古賀市の個性を 起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	子どもたちが考古や古賀の歴史について学ぶ機会を提供する。			
日時	下記の通り	会場	下記の通り	
対象 (複数可)	幼少期(就学前・ <u>学生(小中高大)</u> ・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	下記の通り	担当	文化課文化振興係	
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・ <u>講座</u> ・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>第1回『考古学とはなんだろう?』〔歴史資料館 中会議室〕 実施日:平成30年10月20日(土) 参加者:19人 内容:歴史資料館長による考古学講義。網代編み体験、古代米の稲刈り体験。</p> <p>第2回『縄文土器をつくろう』〔交流館 工芸室〕 実施日:平成30年11月24日(土) 参加者:18人 内容:歴史資料館長による考古学講義。 古賀市陶芸同好会代表の香川義文氏に指導していただき、縄文土器を作成。</p> <p>第3回『古賀の遺跡を探検しよう』〔船原古墳、馬渡・東ヶ浦遺跡、鹿部田淵遺跡〕 実施日:平成30年12月19日(土) 参加者:16人 内容:古賀市文化財係長と巡る現地学習</p> <p>第4回『古代食をつくろう』〔交流館 調理室〕 実施日:平成31年1月19日(土) 参加者:19人 内容:歴史資料館長による考古学講義。火起こし、どんぐりのからむき体験。 どんぐりクッキー・古代風スープ・赤米おにぎりを作る。</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・定員を超える申し込みもあったことから、子ども達の歴史に対する興味の高まりを感じることができた。 ・第1回では、現代の衣服の構造でも使われている網代編みについて学び、資料館で育てた古代米の稲刈り体験をしてもらうことで、身近なものに関連付けて考古学を学んでもらうことができた。 ・第2回では、自分で縄文土器をつくるという体験をしてもらうことで、達成感とともに先人たちの知恵について学んでもらうことができた。 ・第3回では、専門の職員に案内してもらうことで、郷土の文化財や遺跡を知ってもらうことができた。 ・第4回では、第1回で稲刈りした赤米を使用することで講座で得た知識を活かすことができた。また第4回の活動が最も満足度が高く、保護者からも好評であった。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(ナイトミュージアム事業)

計画該当項目	古賀市の個性を起こす	宝を見つける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	子どもたちが歴史資料館や図書館を身近に感じるためのイベント			
日時	平成31年2月2日(土) 18時30分～19時30分	会場	歴史資料館・図書館・中会議室・ギャラリー	
対象(複数可)	幼少期(就学前)・ <u>学生(小中高大)</u> ・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	下記の通り	担当	文化課文化振興係・図書館係	
区分(複数可)	講演会・ <u>イベント(祭りやコンサート等)</u> ・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数 50人(市内在住の小学生) ・【歴史資料館ミッション】 歴史資料館内で、展示物に関するクイズ、資料館内に隠した物を持ってくる、かざぐるまさがし、じゃんけんゲームを実施。 ・【図書館ミッション】 図書館では予め指定された4冊の絵本を探し出し、絵本の頭文字から「ふなばる」の暗号を読み解くミッションを実施。 ・全てのミッションをクリアし、館から脱出する。 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもとは雰囲気が違う夜の図書館と歴史資料館を探検してもらうことで、図書館と歴史資料館の存在を知ってもらい身近に感じてもらうことができた。 ・ミッションに「船原古墳」を関連させることで、子ども達に船原古墳を知ってもらうことができた。 ・定員を超える申し込みもあったことから、子ども達に好評であった。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(歴史資料館見学事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の個性を 起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたちが文化芸術に親しむ機会を学校と連携を図り、提供します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	子どもたちが考古や古賀の歴史について学ぶ機会を提供する。			
日時	下記の通り	会場	下記の通り	
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・ <u>学生(小中高大)</u> ・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	下記の通り	担当	文化課文化振興係	
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・ <u>講座</u> ・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・花鶴小学校6年生…平成30年5月29日・6月1日・6月5日・6月6日・6月13日、計83名 内容:総合的な学習の時間「古賀市の歴史を調べよう」。 ・古賀東小学校2年生…平成30年6月12日、計73名 内容:生活科「町たんけん」。交流館・図書館・歴史資料館見学。 ・福間南小学校3年生…平成30年9月19日、計126名 内容:社会科「かかわってきた人々の暮らし」。 ・久原小学校6年生…平成30年9月26日、計51名 内容:総合的な学習の時間「遺跡・史跡巡りの旅をしよう」。 ・古賀東小学校3年生…平成30年12月13日、計85名 内容:社会科「古い道具と昔の暮らし」。 ・花見小学校3年生…平成31年1月17日、計88名 内容:社会科「古い道具と昔の暮らし」。 ・小野小学校3年生…平成31年1月18日、計86名 内容:社会科「古い道具と昔の暮らし」。 ・舞の里小学校3年生…平成31年1月25日、計50名 内容:社会科「古い道具と昔の暮らし」。 ・古賀西小学校6年生…平成31年1月31日、計13名 内容:総合的な学習の時間「古賀のよさをしろう」。 ・千鳥小学校3年生…平成31年2月6日、計56名 内容:社会科「古い道具と昔の暮らし」。 ・花鶴小学校3年生…平成31年2月7日・2月13日・2月15日、計118名 内容:社会科「古い道具と昔の暮らし」。 ・古賀中学校1年生…平成31年3月19日、計211名 内容:リーパスウォーク。交流館・図書館・歴史資料館見学。 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀市の小学校8校中7校が見学し、郷土の歴史や古民具・農具について実物を見ることで歴史の学習の理解を深めた。 ・市外の小学校2校の受入れを行ったことで、後日歴史資料館へ来館する市外の子どもが増加した。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(歴史資料館ハスポート事業)			
計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝をみつける	短期 リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期 子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	子どもたちが考古や古賀の歴史について学ぶ機会を提供する。		
日時	下記の通り	会場	下記の通り
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他		
参加人数	下記の通り	担当	文化課文化振興係
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みれきし体験パスポート 平成30年7月20日(金)～平成30年8月26日(日) [のべ利用人数] 541人(パスポート発行数 467枚) ・冬休みれきし体験パスポート 平成30年12月21日(金)～平成31年1月14日(月・祝) [のべ利用人数] 88人(パスポート発行数 86枚) ・春休みれきし体験パスポート 平成31年3月22日(金)～平成31年4月7日(日) [のべ利用人数] 140人(パスポート発行数 138枚) 		
成果	・就学前から高校生まで幅広い子どもが利用した。各長期休暇で、昨年より利用者が増加していることから子ども達の歴史への関心が高まっていると感じた。		

平成30年度文化芸術事業報告書(聞き取り調査事業)

	古賀市の個性を 起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化 芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
	古賀市の個性を 起こす	宝を守る	長期	文化財の保存、継承、整備を行います
目的	高齢者に昔の話を聞くことで、古賀の歴史資料として保存を行う。			
日時	下記の通り	会場	下記の通り	
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・ <u>ニア世代</u> 全年齢・その他			
参加人数	下記の通り	担当	文化課文化振興係	
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・ <u>その他文化的要素を利用した事業</u>			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀町商店街 平成30年7月16日 対象者3人[ギャラリー控室] ・駅東区 平成31年2月8日 対象者5人[研修室] ・中川区 平成31年3月7日 対象者7人[研修室] 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・戦前戦後の古賀商店街について、当時の交通手段や商店街の様子、昭和28年の水害について、青年団や祭り等について聞き取りした。 ・戦前戦後の駅東区について、当時の農業の様子、昔の子ども達の娯楽・食べ物、かつて古賀にあった高千穂製紙のことについて聞き取りした。 ・中川区の商業地に至るまでの変容について、昭和の中川区の風景、西鉄電車の利用状況、かつてあった施設・店とその地理的位置等について聞き取りした。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(船原古墳等公開活用事業(パネル展))

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の個性を 起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
	古賀市の個性を 起こす	宝を守る	長期	文化財の保存、継承、整備を行います
目的	船原古墳等についてパネル展を開催することで、市内外に古賀の歴史を周知する。			
日時	下記の通り		会場	下記の通り
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・ <u>全年齢</u> ・その他			
参加人数		担当	文化課文化振興係	
区分 (複数可)	講演会 <u>イベント(祭りやコンサート等)</u> ・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料館展示室 期間:7/4(水)~12/27(木) ・市役所2階市民ホール 期間:7/11(水)~7/23(月) ・遠賀信用金庫ギャラリー「ふれあい」 期間:7/26(木)~8/7(火) ・アクロス福岡 期間:10/15(月)~10/21(日) 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・船原古墳の最新情報パネルをアクロス福岡という人が集まりやすい場所に展示することで、市内だけでなく市外の方にも船原古墳の存在を知ってもらうことができた。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(船原古墳等公開活用事業)				
計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の個性を 起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
	古賀市の個性を 起こす	宝を守る	長期	文化財の保存、継承、整備を行います
目的	船原古墳等について速報展を開催するなど調査成果を公表することで、市内外に古賀の歴史を周知する。			
日時	平成30年3月29日(木) ～5月23日(水)	会場	リーパスプラザこが 歴史資料館	
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代 全年齢 その他			
参加人数	速報展の入館者数1,444人	担当	文化課文化財係	
区分 (複数可)	講演会・ イベント(祭りやコンサート等) 講座・人材育成・ その他文化的要素を利用した事業			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・船原古墳の調査成果速報展の開催 ・船原古墳パネル展の開催 ・船原古墳出土品解説用パンフレットの印刷 ・船原古墳出土品復元CGの作製 ・出前講座等、講座の開催 			
成果	<p>【成果】 ・調査成果の公開について、様々な手法を使うことにより、船原古墳の認知度は着実に上がっていると思われる。</p> <p>【課題】 ・公開している情報が、難しい内容となっているものが多い。資料館利用者の年齢や年代、そして歴史知識の習熟度等に差があるため、平易な内容で情報提供を行う必要がある。 ・公開、そして活用の手法について、ホームページやフェイスブック等も更に有効利用した内容とする必要がある。</p>			

平成30年度文化芸術事業報告書(船原古墳等調査整備事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を守る	長期	文化財の保存、継承、整備を行います
目的	船原古墳等について調査及び整備を進めることで、歴史的価値を確立し、古賀市の宝として保全を図る。			
日時	随時		会場	-
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・全年齢 その他			
参加人数	-	担当	文化課文化財係	
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・ その他文化的要素を利用した事業			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・船原古墳出土品の土やサビ等を取り除くクリーニング作業 ・船原古墳出土品の実測や写真撮影など記録化作業 ・船原古墳出土品のデジタル技術なども利用した多角的調査 ・船原古墳へ行くための誘導サイン設置工事 			
成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船原古墳出土品のクリーニング作業は、当初の予定通り完了することができた。 ・船原古墳へ行くための誘導サイン設置工事の実施により、船原古墳の現地活用環境が整った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船原古墳出土品の記録化作業が計画よりやや遅れており、手段などについて今後検討する必要がある。 ・現地の整備計画や活用計画など今後検討する必要がある。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(遺跡発掘等事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を守る	長期	文化財の保存、継承、整備を行います
目的	文化財の保全を目的として、土地の開発を行う際、文化財包蔵地の確認、発掘調査等を実施する。			
日時	随時		会場	-
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・全年齢 その他			
参加人数	-		担当	文化課文化財係
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・ その他文化的要素を利用した事業			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種開発に伴う埋蔵文化財取扱いに関する事前協議など ・埋蔵文化財の確認・試掘調査の実施と成果の報告 ・本発掘調査の実施と出土品の整理作業など 			
成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種開発に伴う事前協議、確認・試掘調査は適正に実施できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船原古墳以外の文化財等の周知化は十分にできていない状況で、船原古墳と関係性を持たせて保全などを進めて周知化を行う必要がある。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(第5回生涯学習笑顔のつどい)

計画該当項目	環境づくり	-	中期	文化芸術に関するネットワークづくりを行います。
	古賀市の個性を起こす	宝をみつける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の個性を起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
	古賀市の新しい魅力を興す	ざわめきづくり	中期	文化芸術団体の新たな人材育成を進めます。
目的	<p>第2次古賀市生涯学習基本計画に基づき、生涯学習振興の意義や目的を市民と共有し、ともに考え学ぶ場として、「古賀市生涯学習笑顔のつどい」を開催することにより、さまざまな人や団体が育ちあい、つながりあう地域社会を創造する、笑顔かがやく生涯学習社会の実現をめざす。また、生涯学習・社会教育に関する個々の活動が交流し、人と人、人と地域、人と活動がつながり、その活動が新たな活動を生み出し、既存の活動を広げていく仕組みを構築する。</p>			
日時	平成30年9月2日(日) 10:00~12:00	会場	リーパスプラザこが(古賀市交流館) 多目的ホール	
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代 全年齢・その他			
参加人数	約151人	担当	生涯学習推進課社会教育振興係	
区分 (複数可)	講演会 ・ イベント(祭りやコンサート等) ・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>活動発表 ・カチカチ会:古賀の民話等を題材とした、大型紙芝居の発表。 ・なないろハーモニー:多世代による合唱。</p> <p>実践報告 ・古賀すたいる:古賀市選挙管理委員会及び市内飲食店等と協働して実施している「せんきょ割」という取り組みを中心とした報告。 ・青柳校区通学合宿:青柳小学校の5、6年生を対象にPTCAや育成会役員のOBを中心とした組織と地域コミュニティとの協働で運営されている青柳校区の通学合宿に関する発表。</p>			
成果	<p>・社会教育の地域での活動を交流し、学び・拡げ、人と人が繋がる地域づくりを推進することができた。 ・一般の方(所属団体のない人)へ、伝わりにくい。特に子育て世代や、40代、50代の参加を増やしたい。 ・テーマが不明確である。また、地域の力の向上や地域活動の活性化につながっているかの検証までは実施できていないことも課題である。</p>			

平成30年度文化芸術事業報告書(コスモス市民講座)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した 学習機会を提供します。
	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	文化芸術活動を行う個人や団体を行政が行う事 業に積極的に活用します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸 術に触れる機会を提供します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	ざわめきづくり	中期	文化芸術団体の新たな人材育成を進めます。
目的	<p>社会の成熟化に伴い、幅広い年代の人々の学ぶ意欲が高まっている。 人々が生涯のいつでも自由に学習の機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される ような生涯学習社会の実現をめざしている。 その一環として、「市民が主体となって学びあい、教えあい、高めあうことにより、心豊かに学び続 ける人が育つまちづくり、仲間づくりに貢献すること」を目的に市民講座を開催する。</p>			
日時	平成30年5月～平成31年1月	会場	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーパスプラザこが「交流館」 ・ " " "中央公民館" 他 	
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・ <u>学生</u> ・ <u>小中高大</u> ・ <u>子育て世代</u> ・ <u>シニア世代</u> ・ <u>全年齢</u> ・その他			
参加人数	受講生・一般市民 1,434人	担当	生涯学習推進課公民館係	
区分 (複数可)	<u>講演会</u> イベント(祭りやコンサート等)・ <u>講座</u> ・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	【公開講座】年4回・・・講演3回、市民講座体験1回 延計350人 ※市民講座の開・閉校式に併せ開催し、関係する「展示」も毎回一定期間、行った。 【定期講座】5コース(全7回)・・・熱いぞおやじ、歌、史跡探訪、自遊学、家庭料理 延計786人 【気軽に始める1日講座】10講座・・・寄植え、クラフト、料理、スマホ、科学など 延計171人 【市民持込講座】8講座・・・着付、クラフト、囲碁、ウォーキングなど 延計127人			
成果	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度毎の受講者数(延べ)が近年で最多となった。 ・ 地域公民館で「スマホ講座」開催を希望され、講師の紹介や段取りなど支援を行い、実施、少し ずつではあるが、コスモス市民講座を参考とした地域公民館活動との繋がりも生まれてきた。 【公開講座】では、特に11月実施の「じじ・ばばの思春期講座」では、思春期の孫を持つ参加者 からテーマへの共感、アンケートでも実生活へと繋がる講演であったと高い評価を得た。 【気軽に始める1日講座】は、かなりの講座数を確保し、学習の機会の提供が出来た。なかでも 「高校でのパソコン講座」は、地元高等学校との連携した講座となっている。 【市民持込み企画講座】では、「太極拳」「ピラティス」が人気で、市民の健康づくりに対する関心 の高さが伺え、今後の事業企画の参考となった。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活課題の解決に即した市民の学習ニーズの把握 ・ 若年成人層、就業世代の参加の拡充 ・ 学んだことを家庭や地域で活かしているかの把握等 ・ 地域資源(ひと・もの・こと)の掘り起こし ・ 地域公民館活動との連携 			

平成30年度文化芸術事業報告書(青少年活動支援事業(わくわくフェスタ))

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した 学習機会を提供します。
	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	文化芸術活動を行う個人や団体を行政が行う事 業に積極的に活用します。
	古賀市の個性を 起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸 術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸 術に触れる機会を提供します。
目的	青少年健全育成のため、古賀市内で活動している青少年育成団体・古賀市外で古賀市内の子ど もたちが活動している青少年育成団体が集い、子どもたちのイベントを実施することにより、子ども たちに体験の場を設ける。また、企画運営をとおして、育成団体の連携を深め今後の活動に活か していく。			
日時	12月2日 日曜日 10時から15時	会場	リーパスプラザこが 市立球技場 他	
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・ 全年齢 ・その他			
参加人数	ステージ発表:12団体・体験・模擬店: 24団体・ボランティア:3団体 参加者:2,000名	担当	青少年育成課青少年育成係	
区分 (複数可)	講演会・ イベント(祭りやコンサート等) ・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館大ホールにて、オープニングイベント(開会行事及びアトラクション:玄海古賀太鼓)を 開催し、引き続きダンス・演奏等の日頃の成果を披露する子どもたちによるステージ発表。 ・リーパスプラザ大ホールでのイベントは古賀東中学校生徒会による司会にて進行。 ・交流館では、マジック・工作・車椅子体験・演劇体験などの体験・もの作りを実施。 ・模擬店にて、うどん・カレー等を販売。 ・子どもたちに、わくわくクリーン隊を募集しイベント会場のごみの回収を行った。 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○古賀市内の青少年育成団体が集まり、官民共同の事業となっている。 ○市外からの来場者が増えている。 ○例年11月最終日曜日に開催しているが、今年度は12月に開催。来場者が激減することもなく、 市内の小学生・中学生を中心として保護者にも定着した事業になっている。 ○開催時間天気が良く、屋外での活動(子ども遊市)が好評だった。 ●市外からの参加者が増えることで、市内で活動する団体が参加できない状況が生まれないう 配慮が必要。 ●内容が固定化しているという声もあり、今後の開催内容に工夫が必要。 ●ステージ発表での観覧者が少なく、ステージ発表についての工夫が必要。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(青少年活動支援事業(コスモックスまつり))

計画該当項目	環境づくり	-	中期	文化芸術に関するネットワークづくりを行います。
	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	長期	教育機関との連携を図りながら、子どもたちの視点を大切に文化芸術活動を目指します。
	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	地域での文化芸術振興の活性化をめざし、地域施設の活用を進めます。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	青少年の居場所として音楽スタジオやダンススタジオを備えている千鳥児童センターで、その利用者が自発的にイベントを企画、実施することにより、日頃の練習の成果の発表及び交流の場とする。			
日時	10月7日 日曜日 13時から16時	会場	千鳥児童センター(COSMOX) 古賀市千鳥3丁目3-7	
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・ <u>学生(小中高大)</u> ・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	31名(バンド:9組 ダンス:4組) 41名(見学者)	担当	青少年育成課千鳥児童センター	
区分 (複数可)	講演会・ <u>イベント(祭りやコンサート等)</u> ・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	センターを利用する高校生が中心になり、企画・立案から当日実施までの一連の流れを行う。			
成果	<p>○バンド演奏、ダンスの披露、参加者を巻き込んだクイズ大会などを行い、センターを利用する小中学生、OBといった、世代間の交流が図ることができた。</p> <p>○企画～運営まで、イベントのすべての工程を行うことで「企画力」「調整力」「協調性」などの個々の能力開発に期待がもてる。</p> <p>○今年度より、小中学生もステージ発表ができるような内容に変更した。</p> <p>○施設利用また観覧のマナーについては、幕間で声掛けし、働きかけを行った。</p> <p>●施設の利用、観覧マナー向上への働きかけは継続的に必要。</p> <p>●小中学生の参加が増えるような、内容に工夫が必要。</p>			

平成30年度文化芸術事業報告書(青少年活動推進事業(アート教室))

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	教育機関との連携を図りながら、子どもたちの視点を大切に文化芸術活動を目指します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	土曜日の子どもの居場所づくりを主目的に、青少年の体験活動の推進の一環として、主に工作をとおして子どもたちの創造性を育む。			
日時	毎月 第3土曜日 10時から12時	会場	リーパスプラザこが 交流館 102	
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	小・中学生:203名・指導大学生:86名	担当	青少年育成課青少年育成係	
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>4月21日 「ストーンペインティング」</p> <p>5月19日 「お外で描く風景画」</p> <p>6月16日 「こねこね!ねんど」</p> <p>7月21日 「ぷにぷに!スライムアート」</p> <p>8月18日 「コガ・コレ summer fashion show」</p> <p>9月15日 「オリジナルはんこづくり」</p> <p>10月20日 「デッサン」</p> <p>11月17日 「ランチバックづくり(親子体験)」</p> <p>12月2日 「ロゼッタを作って胸に飾ろう!」</p> <p>1月19日 「プラ板アクセサリ」</p> <p>2月16日 「厚紙アート」</p> <p>3月16日 「名刺づくり」</p>			
成果	<p>○九州産業大学の学生が、工夫を凝らし、限られた時間の中で効果的な指導が行われ、好評を得ている。</p> <p>○大学生と一緒に活動することで、日常にない世代間の交流を図ることができる。</p> <p>○11月は「親子企画」として実施。アート教室事業を知らない保護者や事業内容を知らない保護者へのPRとなった。</p> <p>●制作など高学年には物足りない内容だが、水彩画やデッサンなどは、低学年には難しい内容となっており、内容のバランスに工夫が必要。</p>			

平成30年度文化芸術事業報告書(青少年音楽活動支援事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	地域での文化芸術振興の活性化をめざし、地域施設の活用を進めます。
	古賀市の個性を 起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	平成2年に開催された「とびうめ国体」を契機に誕生した「小野小学校マーチングバンド」を前身とする古賀市内の小学生を対象として、音楽に親しめる環境を提供する「古賀キッズプラス」を支援する。			
日時	毎週火・木曜日	会場	小野小学校 せんだんホール	
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・ <u>学生(小中高大)</u> ・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	11名	担当	青少年育成課青少年育成係	
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・ <u>講座</u> ・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	6月23日	歌声集会(青柳小)		
	7月24・31日	夏休み「楽器体験会」		
	8月7・21・28日	(リーパスプラザこが 交流館)		
	10月21日	古賀市健康福祉まつり ステージ発表 (サンコスモ古賀)		
	11月10日	西っ子まつり「楽器体験会」(古賀西小)		
	11月11日	野幸山幸小野まつり(小野小)		
	12月2日	古賀市子どもわくわくフェスタ「楽器体験会」(リーパスプラザこが)		
		ソロコンテスト (福岡市博多小)		
	12月19日	クリスマス会 (小野小)		
	1月20日	小学生管楽器演奏会 (福岡市民会館)		
	2月3日	スチューデントジャズフェスティバル (福岡市西区市民センター)		
	3月24日	桜まつり (古賀市役所駐車場)		
3月31日	第16回定期演奏会 (リーパスプラザこが)			
成果	<p>○小学生が音楽に親しめる環境を提供し、豊かな情操を育むことができる。</p> <p>○市内で行われるイベント等に参加することで、イベントを盛り上げる一助となっている。</p> <p>○部員募集・団体の活動PRを兼ねて「楽器体験会」を開催。(3ヶ所・7回開催) →部員の増加(9名→11名)</p> <p>●部員の確保が困難になっている。部員募集の方法に工夫が必要。</p>			

平成30年度文化芸術事業報告書(古賀の魅力再発見コンテスト事業)				
計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を伝える	短期	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	作品応募者や作品展示を見ていただいた方に古賀市の魅力を感じ、知ってもらうこと			
日時	募集期間:平成30年6月1日～ 平成31年1月11日	会場	-	
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・ 全年齢 ・その他			
参加人数	作品応募者 138名	担当	都市計画課土地利用政策係	
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・ その他文化的要素を利用した事業			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の募集と審査、受賞者へ表彰状と副賞の授与のため表彰式を実施。 ・部門それぞれに最優秀賞(1点)、優秀賞(2点)、佳作(2点)、特別審査員賞(2点)を設け、受賞者は21名。 ・前年度コンテスト受賞作品の作品展を、古賀市役所市民ホール、古賀駅、リーパスプラザこが交流館、千鳥苑、アクロス福岡、九州産業大学にて開催。 ・前年度コンテスト受賞作品を広報こが6月号掲載予定。 ○募集部門 【絵画部門】 ①一般の部(中学生以上) ②ジュニアの部 【写真部門】 年齢制限なし			
成果	(成果)・応募作品数159点(絵画部門一般の部 23点、 絵画部門ジュニアの部 107点、写真部門 29点) 古賀市景観計画策定及び古賀市景観条例制定に至り事業終了			

平成30年度文化芸術事業報告書(図書館まつり事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	幅広い年齢層の市民、利用者に読書活動の普及と図書館利用の促進を図る。			
日時	10月26日(金)～10月28日(日)	会場	リーパスプラザこが 図書館 歴史資料館中会議室	
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・ 全年齢 その他			
参加人数	イベント参加者	660人	担当	文化課図書館係
区分 (複数可)	講演会 ・ イベント(祭りやコンサート等) 講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>【図書館まつり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックリサイクル(ロビー) 図書館で除籍した本を利用者に提供。 ・「ことちゃんぬりえコンテスト」 ぬりえの募集をし、ギャラリーに掲示。優秀作品には図書カードをプレゼント。 ・「どくしょの木」 おすすめの本を葉っぱの用紙に書いてもらい、館内に「どくしょの木」として掲示。 ・布絵本展示(こがめルーム) ・本のお楽しみ貸出袋 ・「ブックカバーをつくろう」 簡単な手作業によるブックカバーづくり。 ・「どようおはなし会プラス」 ・読書講座「九州の文学者たち2018」 講師:塚崎謙太郎さん(西日本新聞編集局社会部次長) ・講座「図書館で落語会」落語家:粗忽家 酔書さん 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ぬりえ、どくしょの木、ブックカバーづくりなどを行い、幅広い世代の方に楽しんでいただき、多くの方に入館してもらうことができた。 ・読書講座や落語会は、合わせて100人を超える参加者があり、大変好評であった。 ・更なる読書活動の推進のため、広い周知を行う必要がある。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(読書活動促進事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	市民や読書ボランティアに対して、講座や講演会を開催し、市民の多様な学習機会を提供・支援し、読書活動の促進を図る。			
日時	4月21日他		会場	リーパスプラザこが 歴史資料館中会議室他
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・ 全年齢 ・その他			
参加人数	614人		担当	文化課図書館係
区分 (複数可)	講演会 ・ イベント(祭りやコンサート等) ・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>読書講演会及び講演会等を開催し、読書の楽しみを拡げたり、読書活動の推進を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書の日イベント <ul style="list-style-type: none"> 親子ふれあい遊び～からだを使ってコミュニケーション体験をしよう～ 27人 ぬいぐるみとおとまり会 6人 子ども読書会～本の朗読・ブックトーク・クイズなど～ 22人 ・読書ボランティア講座 「布の絵本づくり講座」4回 延べ45人 ・夏休み小学生プログラミング教室 23人 ・図書館まつりでの講座等 <ul style="list-style-type: none"> 「ブックカバーをつくろう」 14人 読書講座「九州の文学者たち2018」 34人 講座「図書館で落語会」 71人 ・ビブリオバトル IN 古賀市立図書館 16人 ・古賀市親子読書のつどいででの講演 <ul style="list-style-type: none"> 「本ってほんとにおもしろいよ」 250人 ・暮らしの講座「野菜づくりのコツと裏ワザ」 57人 ・東医療センター連携講座「図書館で学ぶがんシリーズ」 49人 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・文学講座だけでなく、暮らしの講座「野菜づくり」や「医療講座」を実施したり、ビブリオバトルなど参加型の講座を実施することで、利用者のニーズを広げることができた。情報化社会の現在、時代の先を考えた講座の計画が必要だと感じた。 ・今後も、市民のニーズや地域の課題に対応した情報提供等の充実や促進に努めたい。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(セカンドブック事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝をみつける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	ざわめきづくり	短期	他部局との連携を図り、情報を共有し、新しい発想の事業を進めます。
目的	読書に対する子どもの興味・関心を高め読書好きな子どもを育成すると共に、保護者が子へ本の読み聞かせをすることでお互いに心豊かな時間を過ごし絆を深める一つの機会として家読の推進を目的とする。			
日時	下記のとおり		会場	サンコスモ古賀 すこやかホール前
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	引換券送付人数:577人 配布人数:525人(引換率 91%)	担当	文化課図書館係	
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・ <u>その他文化的要素を利用した事業</u>			
内容	【3歳になる子どもへのセカンドブック配布事業】 3歳の誕生日を迎える子どもと保護者に絵本の引換券を送付し、サンコスモ古賀で開催する「3歳児健診」終了後に、1冊プレゼントする。更に、読書のきっかけづくりや読書の習慣をつけてもらうため「セカンドブックのしおり」を併せて配布し、本を通じて親子での豊かな時間がもてるように役立てていただくようにした。			
成果	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度より配布方法を見直した結果、平成30年度は配布率は91%となり、多くの親子に手渡しすることができた。 親子での絵本を通したふれあいの時間を作っていただくとともに、市立図書館の利用にも結びつけていきたい。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(子ども図書館員事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した 学習機会を提供します。
	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	地域での文化芸術振興の活性化をめざし、地域 施設の活用を進めます。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術 に触れる機会を提供します。
目的	図書館の仕事を体験することで、図書館に対する理解、関心を高める。また、図書館が身近なもの となることで、読書の促進につなげる。			
日時	10月7日(日) 小学1~3年生 10時30分~12時 小学4・5年生 14時~15時30分	会場	図書館	
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・ <u>学生(小中高大)</u> ・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	6人	担当	文化課図書館係	
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・ <u>講座</u> ・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館についての説明後、館内見学、図書館業務体験を行った。 学年別参加者数:1年生 1人、2年生 1人、3年生 1人、4年生 2人、5年生 1人 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども図書館員の参加者は、少し緊張しながらも大変興味を持って積極的に体験に臨んでいた。 最後に「修了証」と「読書ノート」を渡した。今後の図書館の利用につながることを期待したい。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(読書ノート事業)

計画該当項目	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子どもたちが文化芸術に親しむ機会を学校と連携を図り、提供します。
	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	子どもたちが市立図書館や学校図書館を利用するきっかけとなるよう、また、本に親しみ、楽しむことで、豊かな心や生きる力を育むことができるよう、読書歴を記録していくことができる読書ノートを配布し子どもの読書活動の推進をしていく。			
日時	4月19日(木)小野小学校 4月24日(火)古賀東小学校 4月27日(金)花鶴小学校 5月8日(火)花見小学校 5月9日(水)青柳小学校 5月10日(木)千鳥小学校 5月11日(金)舞の里小学校 5月16日(水)古賀西小学校 2月26日(火)古賀特別支援学校	会場	各市立小学校 古賀特別支援学校	
対象(複数可)	幼少期(就学前)・ <u>学生(小中高大)</u> ・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	市立小学校に通う1年生:584人 福岡県立古賀特別支援学校1年生:35人	担当	文化課図書館係	
区分(複数可)	講演会・ <u>イベント(祭りやコンサート等)</u> ・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>【小学校1年生への読書ノート配布事業】</p> <p>市内新小学1年生を対象に、市立図書館及び学校図書館で借りた本の書名や作者、感想等を記録することができる読書ノートを作成、配布した。1年生におすすめの本を選び、リストも掲載した。</p> <p>配布については、各小学校へ市立図書館司書が出向いて、おはなし会を実施した上で行った。希望する学校へは、図書館マスコットキャラクターのことちゃん(着ぐるみ)から読書ノートをプレゼントした。</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市立小学校8校へ出向き、おはなし会を行った後、読書ノートを合計約600冊配布した。配布後、市立図書館で借りた本の記録シールをもらう子どもの姿が見られた。 ・古賀市内の県立特別支援学校に通う新1年生へも配布することができた。(35冊) 			

平成30年度文化芸術事業報告書(小学校親子読書活動促進事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した 学習機会を提供します。
	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	文化芸術活動を行う個人や団体を行政が行う事 業に積極的に活用します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたちが文化芸術に親しむ機会を学校と連 携を図り、提供します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸 術に触れる機会を提供します。
目的	家庭における読書活動の重要性を認識すると共に、仲間と共に活動することで、更なる読書の活 発化を図る。			
日時	・親子読書会:各小学校で随時 ・古賀市親子読書のつどい 平成31年2月9日(土)		会場	・定例親子読書会:各小学校にて実施 ・古賀市親子読書のつどい :交流館多目的ホール
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・ <u>学生(小中高大)</u> ・ <u>子育て世代</u> ・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	会員数:80人 つどい参加者:250名	担当	文化課図書館係	
区分 (複数可)	<u>講演会</u> ・ <u>イベント(祭りやコンサート等)</u> ・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	【定例親子読書会】各小学校で随時活動 7小学校にあり 会員数(児童数):82人 各学校で読書会を実施したり、講師を招き読書から発展した活動を行った。 【古賀市親子読書のつどい】参加者数:250人 平成31年2月9日(土)実施 ・各学校の活動の発表 ・講演「本ってほんとおもしろいよ」講師:九州女子大学非常勤講師 鈴木研さん			
成果	・市内小学校児童や保護者に市内各小学校で行う親子読書会への参加を促すことで、親子で一 緒に本を読む時間を持つことや読書の楽しさにふれたり、親子の仲間と共に活動することで読書 の幅を広げ、深めることができた。 ・各学校での活動では、読書活動を親子で楽しみ、読書習慣を育むことができている。 ・つどいでは、各学校からの発表の後に、子ども読書を熟知し実践しておられる鈴木研先生を講師 に招き、講演を実施した。ブックトークや読書クイズも行われ、有意義な時間を過ごすことができ た。 ・共働き世帯の増加により親子読書会の加入世帯の減少が見られる。1小学校では、会員が集ま らなかった。参加可能な世帯だけでなく、親子読書活動を広げるための方向性を考えていく必要が ある。			

平成30年度文化芸術事業報告書(中学生読書サポーター事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	地域での文化芸術振興の活性化をめざし、 地域施設の活用を進めます。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたちが文化芸術に親しむ機会を学校 と連携を図り、提供します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化 芸術に触れる機会を提供します。
目的	読書の大切さや面白さを子ども達同士で伝え合い、校内や公共図書館内で発信することのできる「中学生読書サポーター」を養成し、読書習慣の定着や読書環境の充実を図る。			
日時	養成講座:3日間 7月27日(金)、7月31日(木)、 8月21日(火) 学校や地域での活動は各自		会場	養成講座:図書館他 活動:各学校 各地域
対象 (複数可)	幼少期(就学前) <u>学生(小中高大)</u> 子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	中学生 10人	担当	文化課図書館係	
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・ <u>人材育成</u> ・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>【中学生読書サポーター養成講座】</p> <p>第1回 7月27日 開講式、館内見学、図書館の仕事体験、読み聞かせ講座 第2回 7月31日 読み聞かせ、わらべ歌練習、おはなし会プログラム作成 第3回 8月21日 おはなし会実演、閉講式(終了証授与) 講師:「こが語りの会」の皆さん</p> <p>事業終了後、校内、公共図書館内、地域等において読書活動の普及活動を行う。</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「福岡県子どもの読書活動充実事業」の補助を受けながら、中学生読書サポーター養成講座を実施し、「おはなし会」について取り組み、充実した内容であった。 ・図書館の事業「子ども読書の日イベント」において実施された「どうようおはなし会ぷらす」(小学生向けおはなし会)の実演にサポーターを活用した。 ・今後、当事業を活用して学校内や地域での読書の普及活動を進めたい。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(学校図書館・公共図書館相互貸借事業)

計画該当項目	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子どもたちが文化芸術に親しむ機会を学校と連携を図り、提供します。
	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	長期	近隣都市との広域的な連携を図ることで、文化芸術振興へいかします。
目的	図書館利用者・市内小中校児童生徒に対し、インターネット横断検索を利用した相互貸借を行うことで、国・県・市の公共図書館の図書資料を有効活用し、必要とされる情報及び資料を提供する。			
日時	随時		会場	古賀市立図書館⇄他市図書館
対象(複数可)	幼少期(就学前)・ <u>学生(小中高)</u> ・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数			担当	文化課図書館係
区分(複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・ <u>その他文化的要素を利用した事業</u>			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共図書館及び学校図書館ネットワークを使い、横断検索で資料の検索を行い、公共図書館間や学校図書館間で相互に貸借を実施。 ・リクエストカードに要望を書いてもらい、その希望に沿って他市・他県から相互貸借を実施。 ・学校図書館ネットワーク(e-slip)を活用し、市内小中学校間の利用を円滑に実施。 市立図書館から小中学校への貸出冊数:1,364冊(年間) ・学校図書館の市民開放用一般図書の配本を試行実施。 約1か月40冊以内。貸出冊数:2,974冊(年間) ・国・県・市の公共図書館ネットワークを活用し、相互貸借を行う。 相互貸借数:3,261件(年間) 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館に所蔵のない資料を他公共図書館等と貸し借りすることで、限られた予算と図書資料の有効活用ができる。 ・情報化社会に対応したインターネットによる相互貸借を活用することで、利用者の利便性向上を図る。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(視聴覚資料利用促進事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	市民・図書館利用者に対して、図書館が所蔵している視聴覚資料の上映を行うことで、作品を楽しく鑑賞してもらうことや映画の楽しみを知ってもらう。			
日時	名画会: 第2土曜日 子ども映画会: 第2日曜日(年7回)		会場	リーパスプラザこが歴史資料館中会議室 他
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・ <u>全年齢</u> ・その他			
参加人数	名画会: 399人 子ども映画会: 193人		担当	文化課図書館係
区分 (複数可)	講演会・ <u>イベント(祭りやコンサート等)</u> ・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>図書館が所蔵している視聴覚資料(上映許諾権付)を「名画会」「子ども映画会」として上映する。</p> <p>上映にあたっては、参加者のニーズと上映権の許諾を考慮して作品や文化的価値がある作品、評価が定まった作品を選ぶ。</p> <p>【名画会】 第2土曜日 14時～開催 各月1回 年間12回</p> <p>【子ども映画会】 14時～開催 年間7回</p>			
成果	<p>・名画会については、介護支援課の高齢者外出促進事業の対象イベントとしたことにより、参加者数が増加している。</p> <p>・子ども映画会については、開催回数や時期を見直し、長期休暇中を中心に年7回の開催としたところ、参加者数が増加する結果となった。上映後は作品に関連した図書資料の貸出が増加し、貸出促進が図られた。</p>			

平成30年度文化芸術事業報告書(読み聞かせ促進事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	文化芸術活動を行う個人や団体を行政が行う事業に積極的に活用します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動の推進。 ・読書活動に関する興味関心を深める。 ・図書館を身近に感じてもらう。 			
日時	下記のとおり		会場	リーパスプラザこが 図書館 歴史資料館中会議室 サンコスモ古賀(ブックスタート)
対象 (複数可)	幼少期(就学前) 学生(小中高大) ・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	総参加人数 2,040人	担当	文化課図書館係	
区分 (複数可)	講演会・ イベント(祭りやコンサート等) ・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>絵本の読み聞かせを中心に紙芝居、手遊び等を交えながら、また、必要に応じて読書ボランティア団体の協力を受け、おはなし会を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どようおはなし会(毎週土曜日)11時～11時30分 年47回 人数:1,108人 ・赤ちゃんおはなし会(第2水曜日)11時～11時20分、11時40分～12時 年24回 人数:427人 ・小さい子のおはなし階(第3水曜日)11時～11時30分 年12回 人数:203人 ・小学生向けおはなし会(夏休み、冬休み、春休み) 年5回 人数:52人 ・おはなし会スペシャル(7月22日) 人数:80人 <p>古賀市内6つの地域文庫で活動している市民による、エプロンシアターや大型絵本の読み聞かせ、ストーリーソングや人形劇等を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えいごでおはなし会(6月30日) 人数:170人 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階にあわせたおはなし会を定期的実施することで、多くの親子の参加があった。 ・「おはなし会スペシャル」は、夏休み恒例の催しものとして定着しているが、子どもたちが読書に親しむきっかけになるよう、演目と併せて原作も紹介したことで本を借りていく姿が見られた。また、プログラムの幕間に地域文庫の紹介、パネルの展示も行うことにより文庫活動への関心が深まった。更なる地域文庫との連携の強化と、地域文庫への支援を行っていく必要がある。 ・昨年に引き続き行った「えいごでおはなし会」は市民の関心が高く、170人の参加があった。今後も市民のニーズを知ること、ニーズに合わせた取り組みを考えていくことの必要性を感じた。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(地域文庫・読書ボランティア支援事業)

計画該当項目	環境づくり	-	中期	文化芸術に関するネットワークづくりを行います。
	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	文化芸術活動を行う個人や団体を行政が行う事業に積極的に活用します。
	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	地域での文化芸術振興の活性化をめざし、地域施設の活用を進めます。
目的	地域文庫や読書ボランティア団体に対して、図書館資料の団体貸出やスキルアップの為の研修等を実施し、地域での読書活動の活性化を促す。			
日時			会場	各文庫や各読書ボランティアの活動場所
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・全年齢 その他			
参加人数			担当	文化課図書館係
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・ 人材育成 ・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>【地域文庫への配本】 市内の公民館や集会所、児童館にある6つの地域文庫へ図書館資料を年3回、300冊(児童書200冊・一般書100冊)を限度とし、配本を実施。</p> <p>【文庫連絡会】 年3回、情報交換や交流を実施(1回は、おはなし会スペシャル)。</p> <p>【読書ボランティア講座】 「布のおもちゃ『くるりんこ』づくり」と題し、4回シリーズの講座を実施。 講師に絵本ボランティア「つくしんぼ」の皆さんを迎えた。 参加者は延べ45人。</p> <p>【読書ボランティア団体交流会】 ボランティア同士の交流を行うとともに、「古賀子どもの本の交流会」代表の草野三保子さんを講師として、「手遊び歌・わらべ歌」の講習を行った。</p> <p>【読書ボランティア団体への支援】 地域ボランティア活動支援のための助成事業等の案内や各地域での研修会や講演会等の情報提供を行った。</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文庫へ図書館資料を団体貸出することにより、文庫の自主的な活動を促し、図書館を利用することが難しい利用者への読書活動を市内各地域へ広げることができた。(貸出冊数は2,031冊) ・読書ボランティア団体交流会を実施することで、各ボランティア同士の交流ができ、以後の活動に繋がった。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(レファレンスサービス事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した 学習機会を提供します。
目的	情報を求めている市民・図書館利用者に対し、資料の調査をしたり、相談に応じることで情報の提供を図る。			
日時	随時	会場	図書館	
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高)・子育て世代・シニア世代 <u>全年齢</u> ・その他			
参加人数	情報を求める市民、図書館利用者	担当	文化課図書館係	
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成 <u>その他文化的要素を利用した事業</u>			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の多種多様なニーズに応じて、資料及び情報の提供を行った。 レファレンス件数:7,479件 口頭:4,178件 相互貸借:3,261件 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスカウンターでは、いつでも利用者からの相談に応じられるよう、火曜日から金曜日まで職員が午前・午後を交代で対応した。 今後も市民のニーズや地域の課題に応じたレファレンスに対応できるよう、職員の日頃の自己研鑽や体制づくりが必要である。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(視覚障害者読書支援事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝を見つける	短期	リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。
	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	文化芸術活動を行う個人や団体を行政が行う事業に積極的に活用します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	長期	全ての市民が参加できる、文化芸術の場を提供します。
目的	市内視覚障害者に対して、朗読ボランティアが録音した資料を活用し、読書の楽しみや情報の提供などを実施する。			
日時	不定期		会場	図書館
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・ <u>全年齢</u> ・その他			
参加人数			担当	文化課図書館係
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・ <u>その他文化的要素を利用した事業</u>			
内容	<ul style="list-style-type: none"> 朗読ボランティアが録音したテープや図書館の資料(カセットブック録音図書)を無償郵送システムを使って視覚障害者へ提供する。 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> 朗読ボランティアが使用する機器の故障により、録音図書の配送はできなかったが、広報誌などの録音図書を図書館の資料として配架する事業は引き続き行われた。 録音図書の配送依頼自体がなく、活用件数が減少しており、広報や周知を行う必要があると思われる。 マルチメディアDAISYの活用推進及び周知が必要である。 <p>(マルチメディアDAISYは、現在広く流通している音声DAISYのさらに進んだもので、音声とその部分のテキストや画像等がシンクロナイズ(同期)して出力され、パソコンで利用できる。視覚障害者・肢体障害者・聴覚障害者・学習障害者・寝たきりの人等様々な人が利用できるアクセシブルなデジタル図書)</p>			

平成30年度文化芸術事業報告書(読書推進事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	文化芸術活動を行う個人や団体を行政が行う事業に積極的に活用します。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたちが文化芸術に親しむ機会を学校と連携を図り、提供します。
目的	読書に対する興味・関心を高め、豊かな心を育てる			
日時	随時		会場	学校図書館
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・ <u>学生(小中高大)</u> ・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	保護者 児童 生徒 教職員	担当	学校教育課指導係	
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・ <u>その他文化的要素を利用した事業</u>			
内容	図書委員会の運営事務 おはなし会事務(企画への参画・講師依頼・実施) 読書週間事務(企画への参画・広報・実施)			
成果	(成果)図書の時間に本の調べ方、絵本の読み聞かせ、ブックトークなどを行うことにより、読書指導の充実を図ることができた。 地域ボランティア、保護者ボランティアを積極的に活用することが児童・生徒の読書の推進につながった。また、朝の活動で新聞学習、朝読書を取り入れることで知識欲が増し、読書力がついた。各学校で年3回～4回の読書週間を毎年行うことにより、読書週間をきっかけとして読書推進につながる児童・生徒が多くなった。 (課題)図書司書と司書教諭とのさらなる連携のもと読書推進に取り組むこと			

平成30年度文化芸術事業報告書(文化教養向上事業)

計画該当項目	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	文化芸術活動を行う個人や団体が行う事業に積極的に活用します。
	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	長期	地域での文化芸術振興の活性化をめざし、地域施設の活用を進めます。
目的	文化活動をとおり、参加した市民同士の交流の場・コミュニケーションの場を作るとともに、参加者の人権意識高揚へつなげる			
日時	通年(各教室、月2回)	会場	隣保館・2集会所	
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高)・子育て世代・シニア世代・全年齢・ <u>その他</u>			
参加人数	生花:8人 民舞:11人	担当	隣保館	
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・ <u>講座</u> ・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	主に、会場の近隣住民を対象とし、下記内容にて実施。 生花、民舞、各種文化教室を実施する。(各教室月2回) 生花教室:1教室 民舞教室:2教室			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動を通し、地域住民の交流を深め、生きがいがづくりの場になっている。 ・隣保館で開催する「ひだまり館まつり」への作品出展など活動に目標があることで、向上心が高まり、意欲的に取り組む姿が見られる。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(地域人権啓発事業)

計画該当項目	環境づくり	-	中期	文化芸術と他のジャンルが交流・協働する機会を作ります。
	古賀市の個性を起こす	宝をいかす	長期	地域での文化芸術振興の活性化をめざし、地域施設の活用を進めます。
目的	人権課題を主軸にした事業を企画・実施し参加する市民に対し啓発を行う。			
日時	下記のとおり		会場	隣保館・2集会所
対象(複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代 全年齢 その他			
参加人数	下記のとおり		担当	隣保館
区分(複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等) 講座 人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>【じんけん平和教室】 対象:市内全小学生(参加者:30名) 開催期間:夏休み期間中6日間 内容:福岡大空襲による福岡市内の戦跡フィールドワーク、8月9日長崎フィールドワークを中心に事前事後の学習を行い、命・平和の大切さを学ぶことで人権意識の高揚へつなげる事業。</p> <p>【ひだまりパスポート】 対象:市内全小学生(参加者:77名) 開催期間:7月~9月の間の6日間 内容:古賀市内又は近隣にお住いの外国出身者や長期滞在者、また、外国語指導助手(ALT)などを講師として迎え、文化や習慣の違いを知り、感じることで国際的人権感覚を養う事業。</p> <p>【異文化講座】 対象:市内在住または勤務地を有する高校生以上の全市民(参加者:15名) 開催期間:11月~3月までの間の計5回 内容:様々な国の講師を招き、他国の文化や歴史を知ること、国際的な人権意識の高揚へつなげる事業。</p> <p>【よかよか広場】 対象:近隣市民(参加者計:83名) 会場:隣保館及び2集会所 開催期間:6月~3月までの間の各所20回 内容:音楽(合唱・合奏・聴くこと)やものづくりを通し、地域交流や介護予防などにつなげる。</p> <p>【ひだまり館まつり】 対象:市民(参加者:約120名) 開催期間:年1回 内容:隣保館で行う事業などの成果の発表や、館内人権啓発パネル等による啓発。</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・じんけん平和教室では、参加した小学生一人ひとりが、戦争の悲惨さや平和の尊さを認識することで、自分や自分の周囲の人(友だちや保護者)の大切さを学んでいた。 ・ひだまりパスポートでは、講師が自国と日本の文化や習慣の違いにより困った体験談を紹介され、子どもたちは知ること、相手を思いやる気持ちを育むことができた。 ・異文化講座では、他国の文化を知り、違いを認め合うことで理解を深める姿が見受けられた。 ・よかよか広場は、「もの作りサロン」「健康教室」で体を動かすことで、参加者の笑顔も増え、介護予防にもつながっている。参加する市民の交流の場として広がってきている。 ・ひだまり館まつりでは、日頃は来館されない市民の方の来館があり、各種発表や啓発物などを通して人権啓発はできている。文化活動を通じて市民交流が図られている。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(乳幼児親子居場所提供事業)

計画該当項目	環境づくり	-	中期	文化芸術と他のジャンルが交流・協働する機会を作ります。
	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親子が気軽に利用し、交流を通じて情報交換や仲間づくりの場を提供する。 ・育児相談等を実施し育児負担の軽減や支援機能の充実を図り子育て支援を行う。 			
日時	月曜日～金曜日 9:00～16:00	会場	サンコスモ古賀 すこやかホール	
対象(複数可)	幼少期(就学前) 学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	乳幼児数:7,246人	担当	子育て支援課家庭支援係	
区分(複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	0歳～就学前までの子育て中の親子を対象に、下記のとおり実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・親同士の交流の場の提供 ・子育て支援情報として、でんでんむしだより、遊びの紹介、地域の子育て支援事業等を提供 ・夏休み等長期休暇中に主に3歳以上児を対象に遊びの場を提供(わんぱくタイム) 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフのかかわりによって、親同士の交流を促進するとともに、適切な情報を提供することができた。 ・月齢児に応じた遊びのスペースを設けることで、子どもが主体的に遊べるように工夫した。 ・係内(全戸訪問事業、発達ルーム事業、家庭児童相談)の連携をはじめ、予防健診課等との連携も深まり、気になる親子の見守りが充実した。 ・市民ニーズに即した「わんぱくタイム」は、利用者が増え喜ばれた。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(乳幼児親子相談事業)

計画該当項目	環境づくり	-	中期	文化芸術と他のジャンルが交流・協働する機会を作ります。
	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	同年齢の子どもを持つ親同士の交流や情報交換などをして、子育てに関する不安や悩みを軽減する。			
日時	●月1回(7ヶ月っこ広場、1歳誕生広場) 10:00~10:30(骨密度測定) 10:30~12:00 ※月1回(1歳誕生広場) 10:00~(受付) 10:30~12:00 ●年6回(2歳元気っこ広場) 10:00~12:00	会場	サンコスモ古賀 すこやかホール	
対象(複数可)	幼少期(就学前) 学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	乳幼児数:394人	担当	子育て支援課家庭支援係	
区分(複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	・わらべうた、手あそび、読み聞かせ等の親子遊び ・月齢に応じた生活リズム習得の啓発、身体測定、親同士の交流 ・誕生カード作り、誕生会(1歳誕生広場)			
成果	・4カ月児健診、10カ月児健診の合間に事業を開催することで、健康診査前に相談しやすい体制となっている。 ・同じ月齢の子どもを持つ保護者が参加されることで、親同士で情報交換ができ、友達づくりのきっかけとなっている。 ・市の様々な相談窓口を紹介できるとともに、年齢に応じた事業の紹介をしており、適切な支援につなげている。			

平成30年度文化芸術事業報告書(乳幼児絵本との出会い促進事業)

計画該当項目	環境づくり	-	中期	文化芸術と他のジャンルが交流・協働する機会を作ります。
	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児と保護者が絵本を介して向かい合い、「あたたかくて楽しいことばのひと時」を持てるよう支援する。 ・子育て中の親子の居場所や子育てに関する相談・情報提供を行い、育児不安や子育て負担の軽減を図る。 ・基本的生活習慣の習得。 			
日時	月1回 10:15受付 10:30~11:30		会場	サンコスモ古賀 すこやかホール
対象(複数可)	幼少期(就学前) 学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	乳幼児数:270人		担当	子育て支援課家庭支援係
区分(複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>4か月児とその保護者を対象に次の内容を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わらべうた、ふれあいあそび ・絵本の読み聞かせ ・ブックスタートの趣旨、配布物の説明 ・図書館からの説明(図書カード・ねえよんで他) ・基本的生活習慣の習得に関する啓発 ・子どもとメディアとの関係について(グループワーク) ・絵本の引換 ・育児相談 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて絵本と出会う方もいることから、読み聞かせの楽しさや絵本選びについて伝えている。 ・つどいの広場「でんでんむし」や、他の子育て支援施設の紹介をすることで、利用の促進を図り、保護者同士がつながりあえるきっかけづくりになっている。 ・職員にとっては、乳児家庭全戸訪問等で出会った児との再会の場となっており、保護者からの育児相談を受けることで、当該家庭の現況確認ができている。 ・事業に参加できない家庭には、絵本を持って訪問をする等、支援のきっかけにもなっている。 ・ブックスタート事業を通じて、赤ちゃんの成長には、心と身体の両方の発達が必要であることを考えてもらうきっかけになった。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(地域介護予防音楽活動支援)

計画該当項目	環境づくり	-	中期	文化芸術と他のジャンルが交流・協働する機会を作ります。
	古賀市の個性を 起こす	宝をいかす	短期	地域での文化芸術振興の活性化をめざし、地域施設の活用を進めます。
	古賀市の新しい 魅力を興す	人にやさしい まちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	地域で行われる音楽活動をとおした健康づくり・仲間づくりを、介護予防音楽サポーター(ボランティア)が支援する。			
日時	各地域において実施	会場	地域の公民館等	
対象 (複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・ シニア世代 ・全年齢・その他			
参加人数	のべ参加者 3,000人/年	担当	介護支援課介護予防係	
区分 (複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成 その他文化的要素を利用した事業			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカ、合唱等の音楽活動をとおして健康づくりを進めている地域に音楽サポーター(ボランティア)の派遣、楽器の無償貸与及び楽譜等教材の提供を行う。 ・支援を行う地域が集まり、音楽交流会を開催する。 			
成果	<p>地域における音楽活動をとおした健康づくりを支援する介護予防音楽サポーター(ボランティア)が年々増加し、支援が充実している。</p> <p>1 音楽を取り入れた地域の支援場所数 155ヶ所 のべボランティア派遣数 683回 のべ実施回数 280回 のべ参加者数 2926人</p>			

平成30年度文化芸術事業報告書(地域活動支援センター(ゆい)管理運営事業)

計画該当項目	環境づくり	-	中期	文化芸術と他のジャンルが交流・協働する機会を作ります。
	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	センター利用者は健康づくり資する文化的な活動のノウハウを習得し、地域や高齢者施設等においてノウハウを活用し自身の社会参加や健康づくりを促進するとともに、地域等の健康づくりに貢献する。			
日時	月・水・金の午前及び午後		会場	古賀市地域活動サポートセンター
対象(複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・ シニア世代 ・全年齢・その他			
参加人数	のべ2949名/年		担当	介護支援課介護予防係
区分(複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・ 人材育成 ・ その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>利用対象は介護認定のない、おおむね60歳以上。</p> <p>文化活動、体操・運動による健康づくりや地域活動に資する技術等を習得し、地域や高齢者施設等で行われる健康づくりや社会参加を支援する介護予防サポーター(ボランティア)を養成する。</p> <p>・鍵盤ハーモニカ ・歴史講話 ・パステルアート・太極拳&気功・絵手紙・手芸&ビーズ ・パソコン 等</p>			
成果	<p>1 地域や高齢者施設支援(出前講座)</p> <p>延回数 : 16回/年</p> <p>延参加者数 : 373人/年</p> <p>延サポーター派遣数: 62人/年</p> <p>2 介護予防サポーター養成</p> <p>登録者数 : 199人</p> <p>支援対象箇所数 : 42箇所</p> <p>のべ活動数 : 3409回</p>			

平成30年度文化芸術事業報告書(介護予防・生きがいつくり支援事業(しゃんしゃん))

計画該当項目	環境づくり	-	中期	文化芸術と他のジャンルが交流・協働する機会を作ります。
	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	文化的活動をとおして高齢者の生きがいつくり、健康づくり、社会参加を促進する。			
日時	火曜日～土曜日(10時～15時)	会場	古賀市社会福祉センター	
対象(複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・シニア世代・全年齢・その他			
参加人数	のべ3088名/年	担当	介護支援課介護予防係	
区分(複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・人材育成・その他文化的要素を利用した事業			
内容	<p>介護認定の有無にかかわらず、おおむね60歳以上が利用対象。</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら日常生活を意識した運動。 ・生活習慣の改善につながる教室。 ・昔やっていた遊びや趣味活動。 <p>【活動内容例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事 ・手芸活動 ・園芸活動 ・世代間交流 ・各健康教室(口腔衛生・認知症予防・食事に関する教室等) ・体操に関する教室(体操レクリエーション・いきいき体操・ヨガ等) 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・平均年齢が80.8歳の高齢者が安心して利用できる施設として重要。 ・高齢者の交流促進。 ・高齢者の外出促進。 			

平成30年度文化芸術事業報告書(介護予防支援センター(りん)管理運営事業)				
計画該当項目	環境づくり	-	中期	文化芸術と他のジャンルが交流・協働する機会を作ります。
	古賀市の新しい魅力を興す	人にやさしいまちづくり	短期	子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。
目的	利用者は健康づくり資する文化的な活動のノウハウを習得し、地域や高齢者施設等においてノウハウを活用し自身の社会参加や健康づくりを促進するとともに、地域等の健康づくりに貢献する。			
日時	月～金曜日 10時～15時(一部不定期)	会場	古賀市介護予防支援センター	
対象(複数可)	幼少期(就学前)・学生(小中高大)・子育て世代・ <u>シニア世代</u> ・全年齢・その他			
参加人数	のべ4046人/年	担当	介護支援課介護予防係	
区分(複数可)	講演会・イベント(祭りやコンサート等)・講座・ <u>人材育成</u> ・ <u>その他文化的要素を利用した事業</u>			
内容	<p>利用対象は介護認定がない、おおむね60歳以上。</p> <p>【主な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木工 ・革細工 ・ウクレレ教室 ・折り紙 ・布草履づくり ・コーラス ・絵画 ・押し花 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・モノづくりは質が向上し、活動によってできた作品の中には販売できるものがあり、製作者と一緒に制作している仲間のセンター利用(社会参加)の動機付けになっている。 ・ウクレレは技量の向上が顕著で演奏依頼が多く大いに地域等に貢献している。また、発表意欲の高まりは単独コンサートを開催するなど社会参加に繋がっている。 			

